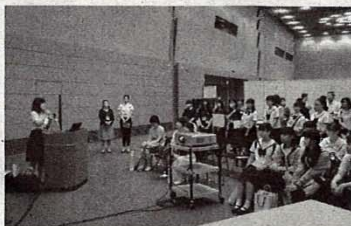


トピックス

阪大・梅田准教授らが
普段の活動をアピール

日経ウーマノミクスで

日経ウーマノミクス ニセセミナー(各30分)ス・フォーラム・シンポジウムが8月31日、大阪府立国際会議場で開催された。その中、大学・企業によるミニ



ミニセミナー「阪大リケシヨのホンネ」のもよう

大阪大学・梅田純子
准教授



ニセセミナー(各30分)において大阪大学接合科学研究所の梅田純子准教授、修士課程1年の森下真衣さん、同2年の佐野萌さんの3人による発表に多数の女子高生が集まり人気を呼んだ。

「おもしろい阪大! ?」阪大リケシヨの「ホンネ」と題し、まず梅田准教授が研究系総合大学である大阪大学を紹介。敷地面積約100万平方メートルでユニバーサル・スタジオ・ジャパ

総合研究所であり、「つなぎを制する者はものづくりを制する」と話した。次に森下さんが1年間の浪人生活の後、工学部に入学したこと。受験生としての生活をいかにすごしたか、理系への道を選んだきっかけ、オープンキャンパスの参加などを語った。大学生活の中でお祭りダンスサークル(よさこい)に入り、各地を巡ってきたなど楽しい面を紹介する一方、今年4月から大学院に進み環境・エネルギー工学を専攻して最先端の技術に触れ、一つの研究テーマを追求できているとした。

佐野さんは、研究室で英語しか話せない人もいる留学生達とコミュニケーションを図りながら一緒に楽しくやっていること。学会やシンポジウムでの発表に参加、得意じゃなかったけど発表後は遊ぶと笑顔で述べた。広域アジア地域インターンシップ派遣プログラム(カップリングインターンシップ)に参加して若者文化や恋愛事情などいろんな話ができたという。楽しみながらチャレンジすることが大切、失敗も楽しいの一環、楽しむ姿勢が必要と話した。